

第2回地域懇話会 議事概要

- 日 時 2023（令和5年）6月1日（木）16:30～18:00
- 場 所 広島市南区役所別館4階大会議室
- 参加者 「地域懇話会委員名簿」のとおり
- 議 題
(1) 第1回の地域懇話会でいただいた御質問に対する回答について

○ 議事概要

【県からの説明】

(1) 第1回の地域懇話会でいただいた御質問に対する回答について	第1回の懇話会で質問があった、「医師確保に関するこれまでの取組」と「救急医療体制の強化に関するこれまでの取組」、「病院再編統合の事例」について説明し、基本構想の意義について理解を求めた。
----------------------------------	---

【地域からの意見】

基本構想について	<ul style="list-style-type: none">○改めてではあるが、新病院ができることにより、より良い環境ができることになるので、地元を含めて、中電病院が移転し新病院に集約することについては、賛成である。○繰り返しになるが、新病院の整備により、高度な医療が提供できるようになることや、これまで広島県にないこども病院のような機能ができることは良いことであり、期待している。○若い医師が地域医療に従事するようなしっかりとした仕組みを構築する必要がある。
跡地に残す医療機能について	<ul style="list-style-type: none">○住民は県立病院の医師を信頼しており、跡地には民間ではなく、県立病院の一部の機能を県立病院の分室のような形で残せないか。○せめて県として医療機能を残すという選択肢を示してほしい。安佐医師会病院のような形が残るのがベストではないか。
跡地の活用	<ul style="list-style-type: none">○移転の賛否から、跡地に何を残すかという次の段階に話が進ってきたと感じる。○医療機能以外にも土地の活用をどのようにするのかについて、皆の意見を聞いて受け止めてほしい。○アンケートを通じて南区の意見はしっかりと聞いてほしい一方で、アンケートだけをもって南区民の総意と決めつけないでほしい。○中電病院の跡地利用は、まちづくりの視点から大きな影響があることから、どういう方針であるか、中国電力に確認してほしい。

【有識者からの意見】

- 回復期が今後は重要で、跡地にそのような機能を残すこともよいのではないか。
- 複数病院の統合は簡単なことではなく、良いことと悪いことの両方がある。声を上げることができない人の声も丁寧に拾っていき、耳を傾ける必要がある。
- 現在の県病院の医療機能が完全になくなるのか、それとも 100%残るのかという極端な議論ではなく、何割かを残すという中間の選択肢があってもよいのではないか。

【病院長からの意見】

- 現在の場所で診療を継続しながら、県病院を建て替えることは難しい。
- 断らない救急の実現や働き方改革の影響等を考慮すると、患者により良い医療を提供するためには、医者をはじめとした医療関係者の数を増やし、マンパワーを集約することが必要である。
- 他県では隣接する2市で公立病院を1つに統合した事例があるが、地域住民には、医療体制の維持のために隣の市への病院移転を理解いただいたと聞いた。広島県でも将来の医療体制のために集約は必要である。

以上